

平成20年度市政懇談会での意見と回答

■交通

意見等の内容	回答	担当課
<p>・バス交通(園篠線)について、市中心部へ行くのに不便であり、増便等交通網について検討願いたい。</p>	<p>・JRから行政が引き継いだ路線で、スクールバスの機能もあり、今後においても利便性の向上に努めます。</p>	<p>企画推進課</p>
<p>・昨年秋から、園部駅から南丹病院へバスでの乗り入れが可能となり、通院者等からうれしいとの声も聞いているが、他の路線運行の空き時間を利用した運行形態であるため、利用しにくいなどの意見を聞く。運行時間帯の変更をお願いしたい。 ・美山は子どもを育てるには大変よい環境。学校の統廃合も仕方ないが、その場合のスクールバスの充実について考えていただきたい。美山は5つの谷でバス路線は複雑。幹線は現況のバスで、枝線は「ぐるりんバス」のようなバス体系を考えて欲しい。</p>	<p>・今、運行しているバス運行は、スクールバスを第一義としている関係で、皆さん方の様々な要望に対して満足のいただける運行体制ができていないことは承知しています。高齢者の方々の交通手段の確保も当然重要です。そうした中、今、バス交通対策の審議会等を立ち上げ、福祉面から交通手段の確保ができないものかなど、検討していただいています。</p>	<p>企画推進課</p>
<p>・JR八木駅舎は、大変老朽もしており、利用しにくい状況であるため早急に改善して欲しい。</p>	<p>・駅舎はJRの施設でありJRとの協議から進めなければなりません。今日の情勢からして大変厳しい状況です。しかし、市としても過去の経緯を踏まえて引き続き検討します。</p>	<p>企画推進課</p>
<p>・JR園部駅までは複線化が現実のものとなるが、園部以北については決定もしておらず、日吉駅、胡麻駅までの配慮がない。園部以北の朝夕の時間帯だけでも増発をお願いしたい。</p>	<p>・JR問題について、友の会・鍼灸大学前駅開設など旧町当時から推進されてきました。市内において格差があるという意見もあり、園部以北については、促進協議会で亀岡市、京丹波町とも連携する中で要望します。ダイヤ改正についても、利用しやすいダイヤとなるよう働きかけています。</p>	<p>企画推進課</p>
<p>・合併の基本理念では、それぞれの地域特性を生かして行政運営していくはずであったが、合併後の実態は4町統一的にやっていたいかなければならなくなった。一例として、日吉町の交通指導員も4町統一で人数が少なくなった。日吉町の交通指導員は一般家庭の葬儀にも出役し、交通整理を行うなど、いわば「地域文化」であった。胡麻の夏祭りにも出役できなくなるなど、村おこしにも影響が出ている。</p>	<p>・4町の様々な違いを痛感しています。交通指導員の他にも消防団組織の体制や自治会組織の体制など、南丹市として統一的なものできていないのが現状です。交通指導員等ボランティアについても市役所として何ができるのか、市民の皆さんに何をやってもらうのか、市役所と市民の協働をいかに進めていくのか、体系づくりを検討します。</p>	<p>企画推進課</p>